

水車のある公園

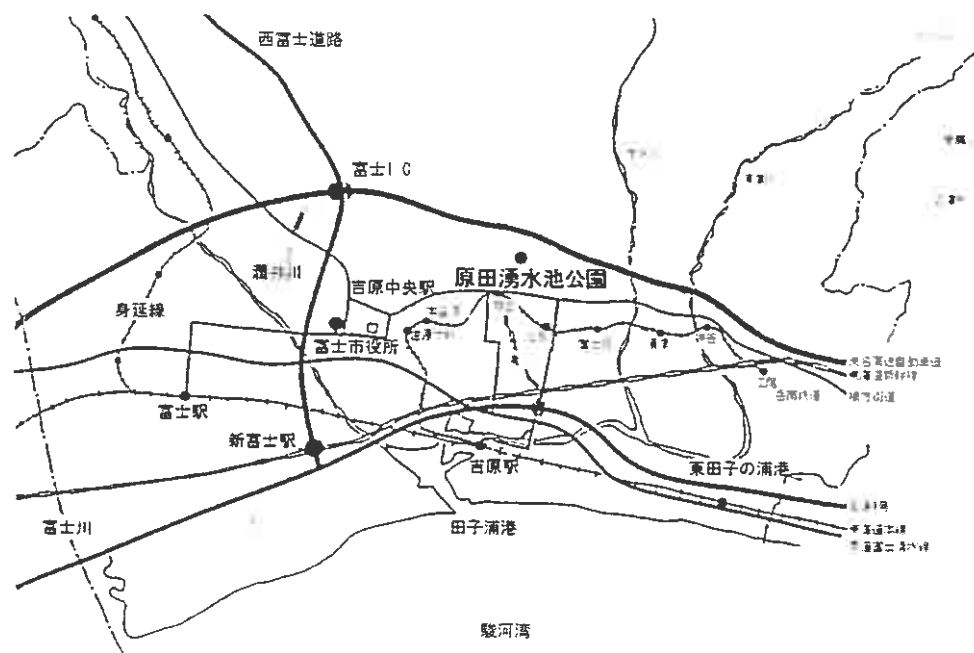
原田湧水池公園



富士市

概要	
所在地	富士市原田字神戸東1147番地の4
面積	0.15ha
	西ゾーン 1,149㎡
	東ゾーン 315㎡
公園種別	特殊公園
総事業費	244,320千円
	用地取得費 192,183千円
	調査委託費 7,077千円
	施設整備費 45,060千円

案内図



【原田湧水池公園について】

原田湧水池公園は、市道原田小学校東側線を挟み、東側が旧原田簡易水道組合の水源地跡地、西側が滝川に注ぐ滝川2号支川で、随所に地下水が湧き出る場所で、昔この地域は豊富な湧水を利用した搗屋が数軒あり、搗屋町とも呼ばれていました。

そこで、富士市は地域の特性である豊富な湧水を利用し、水辺の保全と復元を目的にした水と緑の空間整備のため、昭和62年にふるさとの川モデル事業の候補地として計画しました。

その後、平成元年に原田・吉永地区の居住環境の改善を柱として、湧水の活用、史跡の保存整備、竹採塚周辺の整備等を含めたまちづくり「泉の郷計画」が策定されたことから同計画の一環として整備いたしました。

園内には、湧水を取り込んだ流れや池、昔懐かしい搗き臼と挽き臼を備えた水車小屋を復元し、四阿等の休憩施設も設置されています。

今後、原田地区のまちづくりのイベントの場及び小中学校の教材並びに泉の郷散策コースの一つとして地域の皆様に愛される公園となることを期待します。

【沿革】

昭和62年:計画設計

昭和63年:建物調査

平成 2年:物件調査・用地買収

平成 3年:測量・用地調査・設計

平成 4年:用地調査・用地買収
西ゾーン施設整備(水路壁)

平成 5年:用地調査
西ゾーン施設整備(滝・植栽・見切り工)

平成 6年:分筆登記

平成 9年:東ゾーン整備(池・流れ・植栽)

平成10年:東ゾーン施設整備(池・流れ・木橋・植栽・竹垣・緑化フェンス)

平成11年:西ゾーン整備(水車小屋・四阿・植栽・緑化フェンス)

平成12年:西ゾーン施設整備(流れ・園路・鑑賞デッキ・園内灯・ベンチ・植栽)

原田湧水池公園

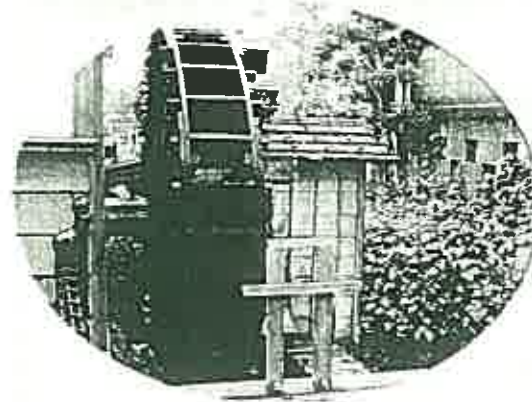
はらだゆうすいちこうえん

昔ながらの土間と土壁の小屋です。広さは、約九坪です。

水車小屋

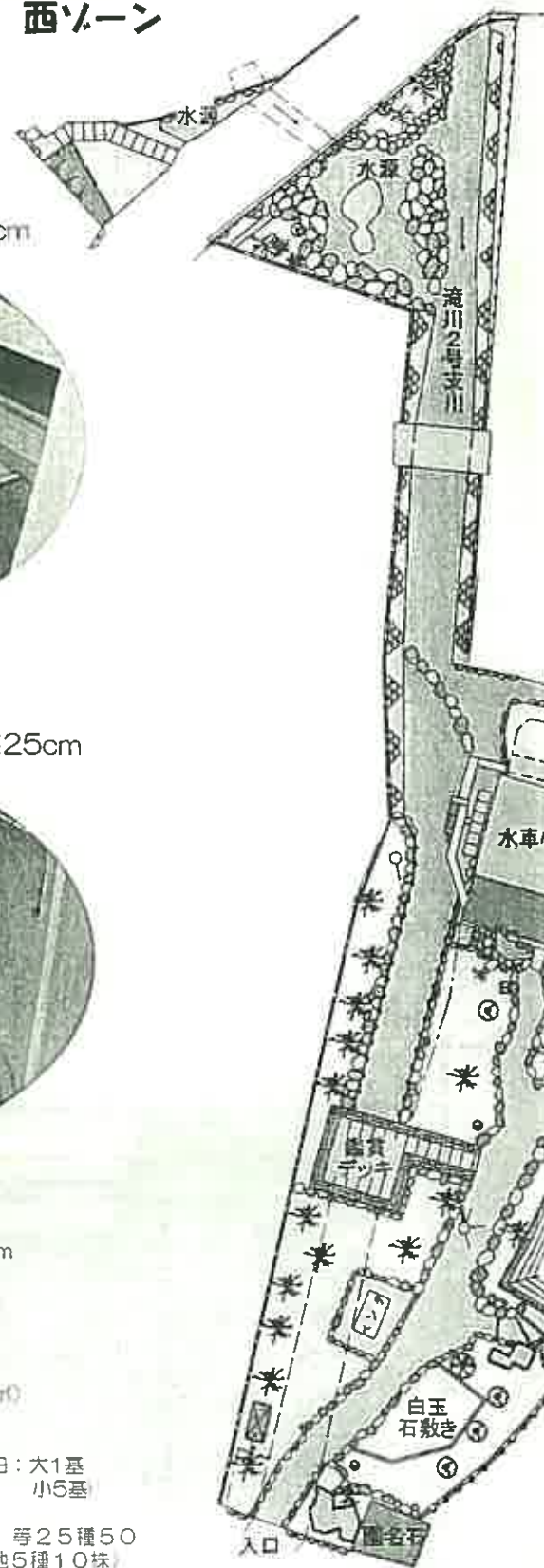


水車



水の力により動く水車は、ひのきでできています。

西ゾーン



搦き臼

伊豆石 内径32cm×深さ35cm



挽き臼

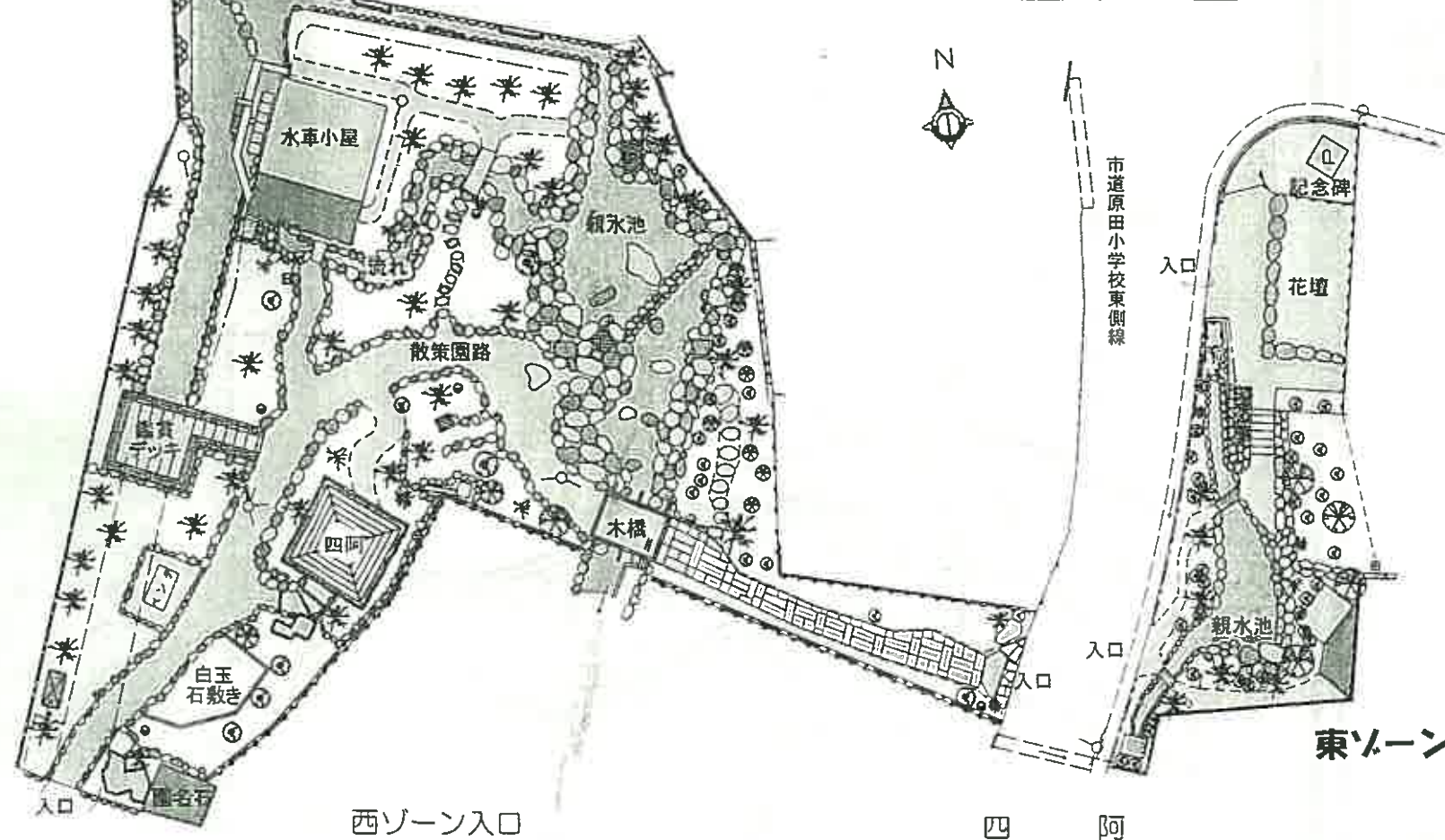
伊豆産柿木石 外径61cm×厚さ25cm



原田湧水池公園は、東ゾーンと西ゾーンに分かれており、豊富な湧水を利用した流れ及び親水池がそれぞれに整備されています。そこには、ゆったりとした時間が流れています。

現在では、あまり見る事ができなくなった、水車小屋が西ゾーンにあり、水車の回る力を利用して、挽き臼と搦き臼を動かすこともできます。

原田湧水池公園平面図



流れ



木橋



【公園施設・西ゾーン】

- 園路広場
 - 散策園路 90m
 - 木橋 1基
 - 石橋 2基
 - 遊具デッキ 1基
- 修景施設
 - 親水池 2箇所 (大: 53m 小: 10m)
 - 水車小屋 1棟 (水車: 3m) (搦き臼: 2基 挽き臼: 大1基 小5基)
- 流れ 18m
- 植栽 (高中木 7本、7号等25種50本; その他5種10株) (低木 寒椿、アザミ等10種55株; その他14種141株)
- 白玉石敷き 16m
- 休憩施設
 - 四阿 1棟
 - 木製ハンチ 1基
- 管理施設
 - 園名石 2基
 - 御膳庭 21m
 - 金閣寺垣 13m
 - 緑化フェンス 160m
 - 園内灯 1灯
 - カーテンライト 6灯

【公園施設 東ゾーン】

- 園路広場
 - 散策園路 30m
 - 石橋 2基
 - 階段 1箇所
- 修景施設
 - 親水池 1箇所: 12m
 - 植栽 (高中木 7本、7号等7種15本) (低木 ヲシロ、アザミ等8種17株; その他3種6m)
- 管理施設
 - ネットフェンス 25m

